

標準化会議事業報告

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づく積極的な規格原案作成活動を進めた。国内標準化活動では、JIS 2 規格の改正作業を行い、申出の準備中である。JSMA 規格も制定・改正作業を進め 2 規格を発行予定である。国際標準化活動では、第 18 回 ISO/TC227 ばね国際会議を Web 会議にて開催した。P メンバー 12 カ国中、10 カ国 33 名が参加した。「引張コイルばね試験法」は、2023 年 1 月に FDIS（最終国際規格案）承認され、2 月に規格が発行された。TC227 で開発した ISO 規格は 9 つとなった。「ねじりコイルばね試験法」は、CD（委員会原案）が承認され、今後は DIS（国際規格案）投票が行われる予定である。

2. 標準化会議の開催

会議	日時、場所	主な議案
第 1 回 標準化会議	2022 年 7 月 6 日 機械振興会館	1. 国内各規格開発（JIS、JASO 及び JSMA）活動内容審議 2. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議
第 2 回 標準化会議	2022 年 10 月 31 日 機械振興会館	1. 国内各規格開発（JIS、JASO 及び JSMA）活動内容審議 2. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議
第 3 回 標準化会議	2023 年 2 月 20 日 機械振興会館	1. 国内各規格開発（JIS、JASO 及び JSMA）活動内容審議 2. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 3. 今年度活動の総括と来年度活動計画審議

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

皿ばね規格の改正原案作成を進めた。2017 年及び 2018 年に発行された ISO 規格に合わせて現行の 1 規格を JIS B 2706-1「皿ばね-第 1 部：計算」及び JIS B 2706-2「皿ばね-第 2 部：製品仕様及び測定・試験方法」の 2 部編成に分けて、改正作業を行った。改正原案は 2022 年 8 月に日本規格協会へ提出し、現在は審査待ちである。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会が 4 回開催され Web 形式にて出席した。今年度は、ばね工業会に関係する規格の改正作業はなかった。

③ JSMA 規格関係

今年度は以下に示す 2 規格の改正原案作成を進めた。2023 年 3 月の理事会承認後に SA008「自動車部品-スタビライザ」、SD002「ばね用鋼線の組織観察による脱炭層測定方法」の 2 規格を改正発行予定である。

(2) ISO 規格関係

① 第 18 回ばね Web 国際会議

日本からは相羽委員会マネジャー以下 3 名が Web 形式にて出席した。11 月 9 日（水）～11 月 11 日（金）の 3 日間開催され、1 日目～2 日目はワーキンググループ会議、3 日目は本会議が行われた。

イタリアが提案した「引張コイルばね試験法」は、FDIS 段階へ移行することを決議した。中国提案の「ねじりコイルばね試験法」は、DIS 段階へ移行することを決議した。

次回の第 19 回国際会議は、2023 年 9 月 14 日及び 15 日にアメリカのラスベガスで開催することを決議した。

この活動には、政府制度の国際標準開発事業のツールを活用し、経済産業省、株式会社三菱総合研究所の支援を頂きながら実施した。

② ISO/TC 227 ばね 国内委員会

国際会議対応のため、標準化会議と同日程でメール審議を実施した。

以 上